

参議院本会議で「ワンヘルスの推進について」議論がかわされました!!

令和4年1月20日（木）に開催された「参議院本会議」において、福岡県選出の松山政司参議院議員が岸田文雄総理大臣に対して「ワンヘルスの推進について」質問されました。



【質問】

新型コロナは、人と動物の共通感染症という特徴があり、ウイルスが人、家畜、動物の間を行き来し、変異することから、これらの健康を一体として守る必要があります。2016年、日本医師会横倉会長と日本獣医師会藏内会長の御尽力で、世界獣医師会と世界医師会が北九州市でワンヘルス国際会議を開催し、人獣共通感染症防止や薬剤耐性菌対策等を含むワンヘルスを実践していく決意として、福岡宣言を取りまとめました。その後、福岡県議会は、議員提案でワンヘルス推進基本条例を議決し、福岡県知事もアジアの人獣共通感染症の中核施設づくりなどワンヘルスの推進に取り組んでいます。今年11月には、福岡市でアジア地区の獣医師会連合会によるワンヘルス推進の大会も開催されます。そこで、昨年G7サミット、カービスベイ保健宣言にて推進が合意され、国連生物多様性条約（CBD）の第15回締約国会議でも言及をされましたワンヘルスについて、福岡県での取組への支援も含めて人獣共通感染症という視点で感染症対策として取り組むべきと考えますが、岸田総理のご所見をお聞かせいただきたい。

【総理答弁】

ワンヘルスの推進についてお尋ねがありました。

感染症対策については、人と動物は相互に密接な関係にあることから、ワンヘルスの考え方にに基づき、総合的に対応していくことが重要です。

政府としては、これまでもワンヘルスアプローチに基づき、薬剤耐性（AMR）対策や鳥インフルエンザへの対応に取り組んできたところです。

福岡県においては、ワンヘルスの理念を実践するため、全国に先駆けて条例を制定し、実践に取り組まれていると承知をしています。

政府としても、福岡県の取組も参考にしつつ、今後ともワンヘルスアプローチに基づく感染症対策に取り組んでまいります。

2022年1月21日

福岡ワンヘルス協議会・事務局